

○令和元年度教育事業

「青少年教育スキルアップセミナー」(R元.10.9 (水) ~11 (金))



◆目的

(1) 自然体験活動を「安全」で「楽しい」活動にするために必要な基礎的な知識・技術・考え方を身に付けることを目的とする。

◆参加実績 (募集 20 名)

参加 10 名

- ・ 青少年教育施設 8 名
- ・ 一般 1 名
- ・ 大学生 1 名

◆プログラム

1 日目 ガイダンス・オリエンテーション・(30分)
理論に関する講習・・・(8時間30分)
自然体験活動の技術や安全管理、キャンプの特性やキャンプの安全、アイスブレイク、キャンプファイヤー等の理論について学んだ。



2 日目 自然体験活動の技術や青少年における体験活動、対象者理解、自然体験活動の指導、自然体験活動の特質、様々なアクティビティ、キャンプの対象、キャンプの指導、料理コンテスト等、主に実技について学んだ。



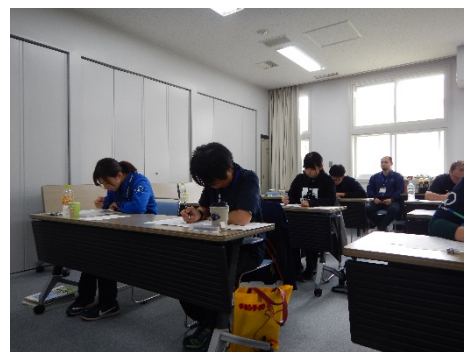
3日目 自然体験活動の安全管理、自然体験活動の技術、ファーストエイド、キャンプクラフトについて学び、午後からは認定試験を実施した。

.....



◆成果

- ① 自然体験活動に関する2つの資格を取得できるようにプログラムを組んだことで、2度、大雪青少年交流の家に足を運ぶことなく資格を取得することができた。
- ② 2つの資格を取得するために、プログラムはタイトな内容であったが、2つの資格を取得するというモチベーションがあったため、参加者は集中して参加していた。
- ③ 講師が、北海道キャンプ協会と自然体験活動指導者（NEAL）であったため、自然体験活動について、幅広く学ぶことができた。
- ④ 今回は大雪の職員も、資格を取得しているのので、資格を生かしてプログラムの作成に当たることができる。



◆参加者の声

- 2泊3日で2つの資格を取得とのことで、少しスケジュールがタイトでしたが、充実した3日間でした。普段、現場で指導していることを見つめ直したり、新たな学びがあったりと勉強になりました。
- キャンプインストラクターとNEALの2つを学ぶことにより、2つを深く理解することができました。
- 講師の方の講座の進め方（話し方や目線の配り方等）とても勉強になりました。
- このような企画をまたお願いします。

◆事業運営のツボ・工夫・反省

- 今回、年度当初に予定していたスキルアップセミナーの内容を年度途中で変更して実施した。このため、事業の運営計画等に遅れが出、広く周知することができなかった。このため、定員に達することができずに終わってしまった。参加する側としては、2つの資格を取れることには魅力があるため、しっかりと運営ができていれば、定員を満すことは十分可能と考えられる。
- 2つの資格を2泊3日で取得することが可能だとわかった。
- 今回の参加者がさらなるスキルアップを目指し、資格を取得していく上で、実技が必要となってくる。大雪の事業に参加してもらうことで、単位が修得できるものもあるので、参加者とのつながりを切らさずに次へつなげていくことが、資格取得者と大雪のウィンウィンの関係になっていく。
- 大雪のボランティアにぜひ、取得して欲しい資格であるので、ボランティアが参加しやすい日程を考慮することも、参加者の確保になる。
- 今後、このような形でスキルアップセミナーを開催していくのであれば、アウトドア系の活動を取り入れている大学とも連携し、学生が資格を取得できるような道筋も作っていくことができる。

◆事業運営費

旅費	57,120円
通信運搬費	11,216円
印刷費	30,240円
燃料費	3,882円
合計	102,458円